



パネリストによるシンポジウム

二月十八日(日)、東京・浜離宮朝日ホールにおいて、第五回親守詩全国大会が開催された。今年度も四十七都道府県において地方大会が開かれ、地方大会の審査を経た作品を全国大会で表彰・発表した。応募総数八二、〇三三作品の中から特別賞十三点、優秀賞十五点、佳作百五点が入賞に選ばれ、今回の全国大会で紹介されるとともに、受賞者一人一人に賞状が手渡され

第五回親守詩全国大会



香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行：安本 薫

〒760-0004
高松市西宝町2丁目4番60号
香川県教育会館602号

TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723

http://www.kakyoren.com/
E-mail: info@kakyoren.com
毎月10日発行 定価1部50円
(年間1,000円 送料とも)
会員の購読費は会費の中に含む



香教連は、結成四十三年を迎えた、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力をもつ、県内最大の教職員団体です。



表彰式の様子

開会行事、模擬授業に引き続き、千葉敬愛短期大学学長・明石要一氏がコーディネーターを務め、明星大が教授・高橋史朗氏、TOS S代表・向山洋一氏、日本教育文化研究所理事長・郡司隆文氏の各氏をパネリストに、「子供の自己肯定感を高めるための方策とは」をテーマにシンポジウムも行われた。

作品・詩部門

佳作

おばあちゃんにお父さんが
こごとを言われてるとき
ぼくがみかたになる
おばあちゃんにぼくが
しかられてるとき
お父さんがかばってくれる
お父さんどぼく
お父さんどぼく
仲良しだから
ぼくが守ってあげるよ
これからもずっと

小学六年生

単組行事や研修会の様子

【丸亀市教職員協議会、仲多度郡・善通寺市学校教職員協議会 合同共催・パワーアップ研修会】



一月二十八日(日)十二時より、丸亀オークラホテルにおいて、丸亀と仲多度・善通寺の二単組合同で豪華ランチの会とパワーアップ研修会を開催した。研修会では、四国学院教授・会沢勲先生に「もっと知りたい!発達障害をもつ子どもや保護者への支援」と題して、参加した四十名近くの先生方と研修を行った。先生方からは、日頃の職場において気になる子どもや保護者への対応の仕方に対して、質問形式で会沢先生に答えていただいた。「どう接していったらいいのかわからないままだったが、ちよつとヒントが見えた気がした」「今日聞いたことを明日学校ですぐにやってみたい」など参加された先生方からたくさん声が寄せられた。

【高松市学校教職員協議会主催・フラワーアレンジメント講習会】
二月二十四日(土)九時三十分より、高松市生涯学習センター(まなびCAN二階実習室)にて、講師に大山史恵氏を招いて開催した。毎年恒例の人気行事で、今年度も多くの方に参加をいただいた。



参加者の作品

講習会ではプリザーブドフラワーを使用するので、生花より長く楽しめることから、卒業式や入学式にぴったりのコサージュや素敵なテーブルフラワーのどちらかを選択して作成した。初めての方も丁寧に教えていただきながら、素敵な作品が今年度も数多く見られた。



【定例会・評議員会】
(丸教協)
二月十六日(金)十八時三十分より、ピカラスタジアム内会議室にて、第五回評議員会が開催された。



市・事務所への人事交渉の報告や役員選出等について、活発な意見交換が行われた。

(大教協)
三月二日(金)十八時三十分より、大川オアシスにて第三回定例会が開催された。行事の経過報告、さぬき・東かがわ市教委との人事交渉や事務所への要望の報告等に引き続き、来年度の魅力ある行事について、アイデアを出し合った。



二月に韓国で開催された平昌オリンピック。日本選手の活躍に日々興奮し、過去最多の十三個メダルを獲得したのは記憶に新しい。▲金メダルはフィギュアスケートの羽生結弦選手・スピードスケートの小平奈緒選手・高木菜那選手だった。四年に一度のオリンピックに照準を合わせ、血の滲むような努力してきたに違いない。素晴らしい演技・レースだった▲中でも私はスピードスケートのチームパシユートに最も熱狂した。パシユートとは三人隊列を組み、先頭を交代しながらスピードを競う競技だ。日本チームの隊列はまるで三人が重なるかのごとく距離感を詰め、空気抵抗を減らして滑り、見事世界一となった▲簡単に言うが、この隊列を完成させるためには、年間三百日を超える練習をしたとのこと。協調性、努力、やり抜く心等、「日本らしさ」を幼少期から身に付けてきた心が根底にあるからこそ金メダルではなかったかと思う。その心をもった選手たちが練習を怠らないのだから間違いなく世界一である。日本人の素晴らしさを感じた歓喜の一瞬でもあった。(薫)